

踏み跡 <My Mountains>

道志	相模湖から石老山	No.171
----	----------	--------

昭和47年3月4日
恩田の発案で道志山塊の最東端の石老山周辺を歩いてみることに
なった。

天気は晴でまずまず。
吉祥寺駅で落ち合って高尾へ。
高尾発 11時38分で小仏トンネルをくぐってひと駅だけ乗り相模湖で下車 11時50分。
ちょうどバスが出るところでタイミングよく飛び乗り、石老山入口で下車。

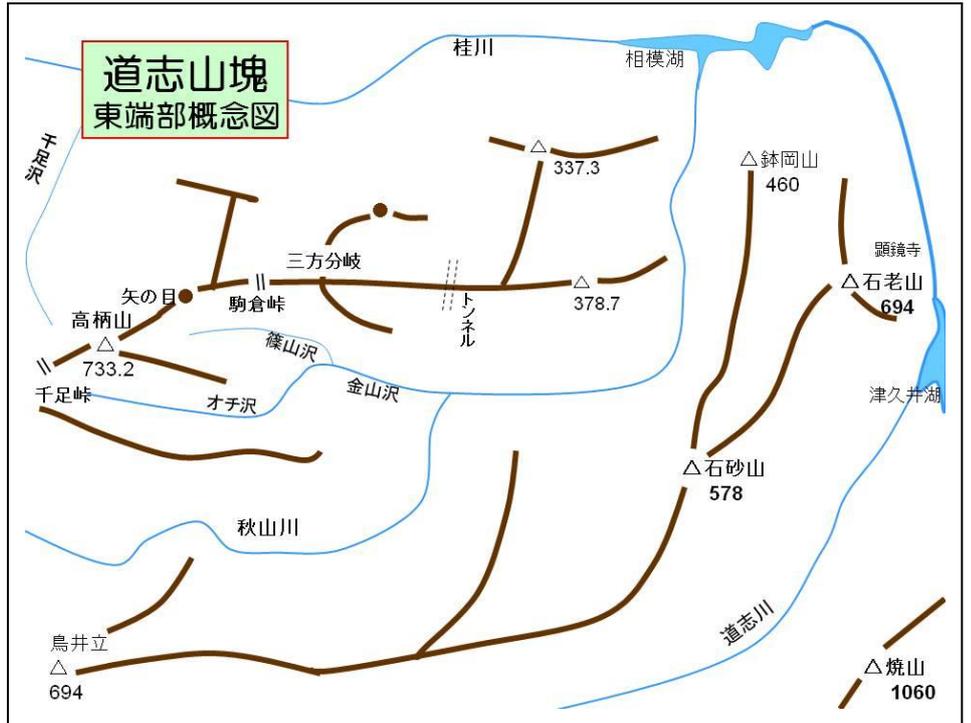
石老山の入口は、石老山顕鏡寺の山門になっている。立派な道標の石柱を見ると、寛政年間のものであることを示している。売店で売っている瓢箪が気に入り、早速購入してザックの中に入れて歩き始め。

巨岩、風格のある杉の木、石段などを楽しみながら登って行くと、低山とも思えぬ落ち着いた雰囲気になってくる。

顕鏡寺でひと休みして、一回目の昼食。枝垂梅に寒椿そして張り出した杉の根。寺の正式な名前は「真言宗高野山派石老山顕鏡寺」と言うようだ。

海拔 694mの石老山頂上で二回目の昼食。

下りも路傍の雰囲気を楽しみながら歩き、寒くはあったがとにかくのんびりした春の低山歩きを楽しんだ一日だった。



以上